



写真は前回のもの

《《「御柱の年」毎に催される伝統行事》》

保科・高井穂神社の赤熊(奴巻)は 10月16日

高井穂神社の秋の例大祭の中で催され、今回の「殿様役」は小学2年の東条歩希君(八幡)。行列途中で見事な奴踊が披露されます。綿内や川田ではあまり知られていませんが、若穂の誇るべき優れた伝統行事です。この機会にぜひご覧ください。(氏子区は八幡・町滝崎・久保・須釜・在家・引沢・五区。今回の元締は八幡の湯本幸さん)

12:00 八幡公民館出発

【町滝崎・久保・引沢経由】

【途中、4か所で奴踊披露】

13:30 高井穂神社到着

14:00 神楽奉納・赤熊(一本落し)奉納



起源については多くの説があり定かでないが、江戸時代中期ごろから始まったと考えられています。(「若穂の文化財」参照)

《若穂のバス利用促進》 通学定期 **10%** 補助は10月1日購入分から対象となります。

10月～来年3月の間に購入した分の申請は来年4月です／「定期券発行証明書」を保管して！

●補助対象は若穂に居住する小学校、中学校、義務教育学校(小中一貫校)、高等学校、中等教育学校(中高一貫校)、特別支援学校、高等専門学校(1～3年)、専修学校(高等課程)に通学する児童・生徒等の保護者です。●若穂を走る路線バス「屋代須坂線」「大豆島保科温泉線」「綿内屋島線」の通学定期券購入費の10%を補助します。(百円未満切り捨て)●補助申請では、購入ごとの「定期券発行証明書」を添付することになりますので保管しておいてください。



(朝の綿内駅バス停)

全農杯・全日本卓球選手権大会に出場

==川田小の3名を表彰／支援金を贈り激励==



神戸市で開かれた全国大会に出場したのは川田小学校の宮澤晴君(6年)、宮澤玲君(4年)、宮澤望君(4年)。理事会の席で3名を激励しました。おめでとう！！

第四地区との地域間交流が具体的にスタートします。10月25日には、若穂から役員ら20数名が代表訪問します。

■今年も「赤い羽根共同募金」「愛の助け合いバザー」にご協力をお願いします■

《《《 10月の主な行事・イベント 》》》

10日(祝) 若穂市民運動会

19日(水) 代表区長会・理事会

23日(日) わかほ福祉まつり(バザー)

29日(土) 人権を尊び差別のない明るい若穂を築く市民集会

年々その傾向が強まる異常気象、懸念される大地震・・・防災は地域あげて怠りなく！



牛島区で防火防災訓練 初めての給水車による給水訓練も

◆牛島区は8月14日、牛島神社境内で恒例の防火防災訓練を行った。区民151名(出席率83%)が参加。熊本地震では飲料水の確保が課題となったことから、今年初めて給水車による給水訓練(写真左上)と濾過機による飲料水のつくり方訓練も実施した。また、昨年に続き2回目となる避難行動要支援者搬送訓練を14班のうち半数の班で自動車と車いすを使い行った。

◆訓練は、お盆に合わせて毎年全戸対象に開いている。区民は防災無線の訓練放送で班ごと第1次避難集合場所に集合した。各戸の安否確認を行った後、班によっては要支援者役の人を自動車や車いすで搬送しながら集まった。放水訓練では地元消防団の指導のもと小型消防ポンプで防火用水の水を放水した。

◆今年度共同募金の助成金により整備した発電機と灯光器を展示し、区役員が万が一の水害や地震に備え夜間の災害対応や住民の避難に効果を発揮すると説明した。

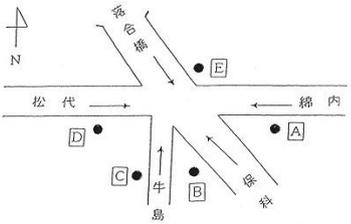
◆義家友治区長(69)は「いざという時のためにも訓練は大事。毎年行い、災害に対する意識を高めていきたい」と話していた。(牛島:西村昇)

自主防災会が防災訓練 8/27



「こんなに揺れるの！」地震体験車で過去の大地震を実際に体験・・・

今年も、安協若穂支部青年部が落合橋南詰交差点でシートベルト着用調査



(8月19日午前7時～7時25分調査)

地点	走行車数 (イ)	着用者数 (ロ)	着用率(ロ/イ) %
A	61	59	97
B	110	105	95
C	13	13	100
D	89	88	99
E	127	118	93
計	400	383	96

後部座席の同乗者は一般道でも着用は義務付け。違反点数・反則金はありませんが身を守るために着用を！

バス利用者アンケートの質問にお答えします

Q1 「綿内、川田、若穂の旧駅に車は駐車できますか？」

A1 綿内駅、川田駅の跡地利用については現在検討中ですが、市は、バス利用者のための駐車を認めています。ご利用ください。申し込みや予約は不要です。ただし、バスが旋回するロータリー部分は不可(表示に従う)。若穂駅は千曲川新道の工事終了後に利用することができます。

Q2 「大豆島保科温泉線の長野行きは、大豆島東団地で10分間も停車・・・」

A2 確かに、便によっては10分程度の停車時間があります。落合橋の渋滞を考慮した”時間調整”だと思われませんが、第1便は早朝のためスムーズに運行していて大豆島東団地での「10分間」につながっているようです。冬期の実績も含めながら、できるだけ時間短縮できるよう市(交通政策課)と協議していきたいと考えています。